

山行報告書

報告書作成

2004年3月28日

山名[山域]	御嶽山	目的と方法	愛知山岳連盟雪上講習会
登山期間	3月20日～3月21日	山行形態	1泊2日
参加人数	2人		

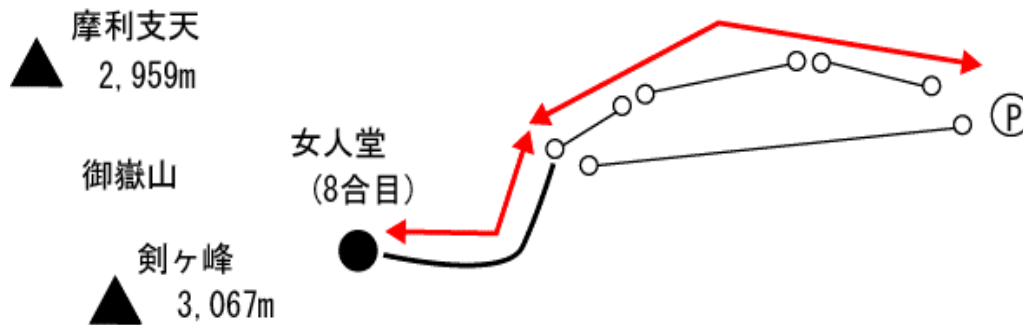
行動記録

3/20(土) 恵那(6:05)==御岳口-フエ-スキー-場P(7:50)--受付(9:00,9:10)==7合目(10:00)--8合目(12:20)TS1
講習終了(16:00)

3/21(日) 講習開始(7:15)、終了(11:30)

TS1(11:45)--7合目(12:30,12:50)--スキー-場P(13:20,13:45)==木曾温泉(14:00,14:40)==恵那(17:00)

概念図



日誌

3/20(土) 天気は曇り時々雪。CLに恵那のアパートの近くまで来て頂き、アパートの駐車場に車を停めて出発。スキー客で渋滞するかと思いきや順調に進み、集合時間よりだいぶ早くスキー場Pに到着。のんびり過ごし、受付を待つが、予定ぎりぎりです。参加者が集まり始めた。ここからはリフトで終点の飯森駅へ。料金は600円。荷物が重いので一人ずつ乗るが、乗り降りや乗っているときも結構危険で、とても怖かった。全員集合した所で開会式が始まる。CLは自分と同じくB(中級)コースを選択していたが、本年より導入された年齢制限に引っ掛かってしまいA(初級)コースでの講習となった。開会式の後、コース別で本日の幕営地である8合目へ出発。これ以降講習内容はBコースについて記す。出発してから道の雪がクラストしたところがあり、通常ならアイゼンを使用するところだが、使用せずここで歩行練習を開始。賛否両論あると思うが、キックステップも使わず、足全体で踏み込む様にとのことだった。自分は間違っってピッケルを使用していなかったため、転んだ勢いで10m程滑落してしまっ。樹林帯で助かったが、沢の方まで滑っていたらと思うと事故になっていたか。3/21(日) 天気は晴れ。北、中央、南アルプス、八ヶ岳の展望が素晴らしい。2日目はまず全員で雪崩遭遇者の捜索、救急法を学び、その後コース別に分かれ実際にビーコン捜索を行った。我が会のビーコンはアナログ式なので発信地までの距離が出るデジタル式より早く見つけることは難しかった。その他、埋没体験、支点使用のトラバース法などを学んだ。その中で自分は初の埋没体験だったが、空気の穴をつくっておいて5分でも苦しくなるのだから、実際雪崩に巻き込まれ埋まったら呼吸もできなくなるのだと分かった。午前中で講習は終了し、テントを撤営し下山。7合目で解散式が行われた。そこで岳連の蟹江先生の訃報が告げられ、全員で黙祷。その後解散。岳連の手違いで下山はスキー場を歩いて行くことに。スキーヤー、ボーダーに注意しながら下山。帰りは岳連関係者で賑わう「木曾温泉」に浸かる。暮春は帰り道にあった、確か「一笠」という名の庄に入った。曇

感想

2日目の講習が始まる時にスコップを探すがどこにもない！講習ではスコップを使用したため、中々気まづかった。終了後、CLに見つけて頂いたがなんだかボロボロになっている。よく見るとうっすら他の山岳会の名が！これ違うやんと思ったが時間がなかったので泣く泣くそのまま持って帰ることに。失くし物には気をつけましょう。